



# 農協だより

Vol.80

URL: <http://www.ja-aki.jp>

平成 25 年 4 月

## ご案内

### 農業講座受講生募集！

今年度も『野菜』の基本的な栽培管理や栽培実習を行い、実際に「見て」「体験」する野菜現地講習会を育苗センターで開催します。受講生は初心者から出荷農家までを対象とさせていただきます。5月から12月までの月1回午前9:30から下記の通り開催します。受講料は1人2千円、募集人数は20~30人の予定です。お申込みは、各支店購買部に申込用紙を用意しておりますので、4月12日(金)までにこの申込用紙を提出してください。

月日	内容	月日	内容
5月9日(木)	果菜類初期管理 他	9月3日(火)	葉たまねぎ定植 他
6月6日(木)	整枝管理 他	10月1日(火)	冬取り軟弱野菜 他
7月12日(金)	夏まき野菜の種まき 他	11月15日(金)	トンネルだいこん 他
8月9日(金)	冬取りきゃべつ他	12月3日(火)	反省会

## 瀬野川農事研究会総会



3月14日に瀬野福祉センターにて、平成24年度瀬野川農事研究会の総会を行いました。総会前には活菜倶楽部等でもっと切り花の出荷が増えるよう、株式会社中国種苗の近藤先生を講師に招き、直売所向け切り花について記念講演を行いました。総会ではぶどうやミズナの立毛品評会の表彰や、24年度の事業や会計の報告、25年度事業計画等の説明を行い、無事承認されました。

今年度は会員が減少しましたが来年度はより活動を充実させていこうということで閉会となりました。

## 稲作講習会を開催いたしました！

3/4~3/8の5日間、管内10ヶ所ですべて計89人の出席をいただき開催しました3月から5月の稲作管理のポイントを資料をもとに説明いたしました。育苗センターにおいても4月1日から水稻の播種が始まります。これから稲作が始まりますが、お問い合わせ等がありましたら営農指導センター(082-855-6176)までよろしくお願いいたします。

## 活菜倶楽部講習会開催

2月18日小屋浦支店、19日畑賀支店、20日熊野支店にて「春播き野菜講習会」を開催し、この厳冬期にも出荷できる野菜の作型や育苗センターで11月上旬からコマツナやハウレン草などの軟弱野菜やカブ、ダイコンを播種しユークラックンキやパオパオなどの保温資材を使い収穫された農産物について紹介しました。また、出席者から会員割引で種と肥料の注文を受けました。



## 育苗センターでは・・・

育苗センターでは4月15日からの野菜苗の配送に向け長ナス・中長ナス・きゅうり・ピーマンなど良質な苗を育苗しております。管内の栽培に適した時期に合わせて播種を行い、通常の9cmのポットへ鉢上げしております。購入された苗は12cmのポットに植替え、外気に慣らし、ゴールデンウィーク頃に畑へ定植が適しております。



## 水稻種籾の温湯消毒

また、この時期がやってきました。今年も3月21日から4月19日までの間で8日間実施しています。温湯消毒は種籾を60のお湯に10分間浸け多くの病害虫を防除する方法です。農薬を使わないので環境に優しく食の安全・安心につながる技術で、廃液の処理による環境問題や時間の短縮、費用面など多くの利点があり取り入れております。この地域では10年程前から他の地域に先駆けてこの防除法を取り入れており、延べ1000件以上の農家を実施しております。毎年利用されている農家には費用が安く管理がしやすいと喜んでいただいております。

### 残りの日程

4月8日(月) 4月9日(火)  
4月16日(火) 4月18日(木) 4月19日(金)

完全予約制です。詳しくは営農指導センター(855-6176)までお願いいたします。



# 4月営農メモ

## 水稲

### 稲作育苗ポイント

**塩水選** 塩水選で不良籾を除くことで、生育が揃い、病害虫の発生を抑えることが出来ます。必ず行ってください。

購入種子も同様に（風選のみ）

- ・種籾についた塩を流水で充分洗い、水切りをしてください。
- ・塩水選終了後、すぐに種子消毒をしない場合は十分に（水分 15%）乾かしてください。

**種子消毒** これによって、いもち病、ばか苗病、籾枯細菌病及びイネシンガレセンチュウを防除します。

【薬液消毒】 消毒は浸漬の前に行います。

- ・薬液の温度は、効果が落ちるため 10 以下にならないようにしてください。
- ・薬液のとりの悪い布袋などの使用は避けてください。
- ・種子消毒後の水洗いはしないでください。
- ・はじめ薬液が付くよう消毒ネットをよくゆすり、気泡を取るように漬けてください。

【風乾】（種子消毒が済んで効果を高めるために）

- ・薬液から引き上げた種籾を一昼夜日陰において、薬液を固着させます。

【温湯消毒】 なるべく自家採取した籾は避けてください。

- ・60 のお湯に 10 分漬ける事によって薬液消毒と同等の効果が有り、廃液も出さず環境にやさしい防除方法として注目されています。
- ・塩水選終了後ただちに実施します。1 時間以後は時間経過とともに発芽率が低下しますので事前に塩水選を済まされる場合は充分乾燥（15%）させてください。
- ・温湯消毒後すぐに浸漬しない場合は、日陰でネットのまま吊るすか、清潔にブルーシート（むしろ等は使用しない）に広げ十分に乾燥（水分 15%）させてから清潔な保管してください。
- ・温湯消毒した種籾は農薬による消毒と異なり、消毒後の感染に無防備です。殺菌後は絶対に病原菌等（無処理の籾）に接触しない様に注意してください。

**浸漬** 浸漬時間の目安は、積算温度 100 です。（10～15 の水に 7～10 日の浸漬）

【方法】 ①種籾 10 kg に対して、水 40ℓ 必要です。（酸欠防止）

種籾を網袋に少なめ（消毒ネットに 4 kg 以内）に入れ水に漬けてください。

最初の 3 日は水の交換はせず、4～6 日おき、7 日以降は毎日交換してください。

【注意点】 発芽しにくい品種（コシヒカリ、ヒノヒカリ、あきるまんなど）は 2 日程度長めに浸漬してください。水温が低い状態（10 以下）で浸漬時間が長くなりすぎると、細菌が発生しやすくなります。温湯消毒の場合は早めに芽を切ることがあります。またヌメリが出やすいので、水交換は 2 日目から行ってください。

**芽出し** ハト胸状態（1mm まで）に出させます。この時、酸素不足や、35 以上にならないよう注意してください。育苗器（30 で約 24 時間）や風呂の残り湯（始め 35 から 2～3 日利用します）

## 果樹

### イチジク

イチジクは花と結実に関する習性によってカリブ種、スミルナ種、サンペドロ種、普通種に分類されます。わが国で栽培されている夏秋果兼用種や秋果専用種はすべて普通種に属して一般に雄花をもたない。代表的な品種に柘井ドフィン、蓬萊柿、ホホワイトゼノア、ブラウンタキ、ミッション、ホホワイトスキア、カドタ、オスポーンプロリフィック、などがあります。イチジクは挿し木繁殖が容易にできますが、センチュウやいや地による被害を受けることがあります。収穫は、植え付けて 2 年目から可能ですが、寿命は他の果樹より短く、盛果期は植え付け後 7～15 年で樹勢が急速に衰えていきます。土壌乾燥に対する抵抗性はきわめて弱いので果実の肥大期（7～9 月）は灌水を行い適湿を保つようにします。逆に、排水の悪い所や過湿に対しても弱いので注意して栽培します。果実は約 4mm のときから成熟までによる積算温度は平均 2118 ぐらいで、第 2～13 節位で収穫量の 85% をしめます。4 月は発芽期～展葉期になり土壌水分が不足すると生育が遅れるので注意します。良品質果実生産は、土壌改良による活力ある根づくりが大切です。

## 野菜

4 月になると果菜類を中心に野菜の苗が店頭で販売されますが、購入後すぐに定植すると寒さで苗が傷む事がありますので、軒下等で慣らしをした後定植してください。

**植付け準備** 定植 1 週間前までに堆肥、石灰、基肥を施し、畦立てをしておきましょう。

土が湿った状態であれば日中の地温の高い時間にマルチを張っておきましょう。

**被覆資材** ゴールデンウィーク明けまでは晩霜の恐れがありますので、ホットキャップやユーラック等で被覆し、寒さや荒風に当てない様にしましょう。

活着促進のためトンネルは植付け前日には張っておき、地温を高めておきましょう。

**定植** 朝、夕の涼しい時間帯を避け定植します。植付け前には、苗や植え穴に 1,000 倍程度の液肥をかけておくと活着しやすくなります。

アブラムシ等の飛来が多い時期となりますが、ジェイエース粒剤等登録のある農薬を処理しておくといく月ていど予防効果があります。

マルチをしている場合、穴を塞いでいないと熱風が下から吹き上げ下葉が焼ける事がありますので穴を塞いでおきましょう。

**灌水** 定植後 4～5 日程度で活着となりますが、苗が活着するまでは極端に乾燥をさせない様灌水をしますが、活着後は灌水を控え根の伸長を図りましょう。

トンネルをしている場合、内側に水滴が付いている様であれば日中トンネル内が 40 程度になっても苗が焼ける事はありますが、乾燥していると枯死しますので灌水しましょう。5 月に入り晩霜の恐れがなくなれば被覆資材を撤去し、支柱立て、誘引を行いましょ。

**播種** 籾は薄播きにしましょう。密植は苗の徒長・老化・病害虫発生につながります。

播種量(稚苗)	催芽粉	ヒノヒカリ	180g
		コシヒカリ	150g

育苗箱に床土を入れた後、底から水がしみ出すまで十分灌水します。播種後、ダコレード水和剤 500 倍液を 1 箱当り 0.5ℓ ジョロなどで散布。

水 10ℓ にダコレート 20g で 500 倍液が作れます。（20 箱分）

籾がかくれる程度に覆土した後に灌水すると酸欠の原因になります。

過湿防止の為箱から水が十分切れてから、育苗器などに入れてください。